

手になじむ、
暮らしになじむ、
普段づかいの象嵌。

日本の伝統的な技法「象嵌(ぞうがん)」は、
模様を象(かたど)り、嵌(は)め込む加飾法です。
私たち夢工房では、その古くから伝えられてきた技法を、
色の異なる木や貝をはめ込む木象嵌(もくぞうがん)と
貝象嵌(かいぞうがん)として表現しています。
「象嵌」ならではの、繊細でありながら、より身近に
日々の暮らしの中で楽しんでいただけるような製品を、
岩手の女性達の手で
一つひとつ心を込めて作っています。

A delicate motif is carved on a wooden surface, and then
pieces cut out from shells or different colored wood are
placed into the carved surface.
Because of rustic but universal beauty, inlay products can
be used as both articles for daily use and gifts for others.
To deliver soothing warmth of wood to people's daily
lives, products are made carefully and cordially by
women living in Iwate.



貝象嵌

Kai-zougan

きらきらと輝く貝殻を素材として、内側の真珠層を様々な模様に見出し、木地に嵌める貝象嵌(かいぞうがん)。貝の輝きが、無垢の木肌を華やかに
繊細に彩ります。岩手が誇る世界遺産、中尊寺の螺鈿細工に魅せられて、試行錯誤の中で生まれた夢工房の貝象嵌。ふだんの生活で使って
いただきたいという思いで作られています。

かい ぞう がん
貝象嵌箸
Kai-zougan Bashi

食卓の時間をもっと楽しくなりますように。日本の四季や文様などのモチーフを
黒檀などの銘木に貝で丁寧に嵌めた夢工房の貝象嵌箸。
その繊細な技法と華やかさで普段使いとしても贈り物としても選ばれています。

雅

miyabi

箸の四面全てに伝統柄が優美に象嵌されています。



黒檀箸
10,000円(税込11,000円)
長さ22.5
黒檀、貝



パープルハート箸
10,000円(税込11,000円)
長さ21.5
パープルハート、貝



641 舞桜



642 はねうさぎ



644 菊小紋



645 花亀甲



741 舞桜



742 はねうさぎ



744 菊小紋



745 花亀甲